

令和 7 年度
施政方針及び当初予算提案説明

令和 7 年 2 月 1 9 日

桶川市

令和 7 年桶川市議会第 1 回定例会の開会に当たりまして、新年度に臨む私の市政運営に関する基本的な考え方並びに令和 7 年度予算案及び主要施策の概要をご説明申し上げます。

【 はじめに 】

平成 25 年 4 月、多くの市民の皆様からのご期待とご支援を賜り、市長に就任してから、12 年にわたり「夢と希望を未来へつなぐまちづくり」に向けて、様々な事業にスピード感を持って全力で取り組んでまいりました。

特に、コロナ禍の真ただ中で就任した令和 3 年からの 3 期目においては、新型コロナ対策に奔走する中、「新型コロナウイルス対策支援パッケージ」を第 4 弾まで打ち出し、各種給付金の支給や市民生活支援、事業者支援、感染防止対策など、地域経済や、市民の命や生活を守るための様々な事業に取り組みました。

私なりに、これまでの間、市民の皆様の声を、可能な限り市政に反映することが出来たと認識しております。これもひとえに、多くの市民の皆様や議会の皆様の深いご理解とご協力、そして、職員の皆さんの不断の努力の賜物でありますこと、改めて深く感謝申し上げます。

我が国の経済は、昨年（令和 6 年）の春季労使交渉において、1991 年以来 33 年ぶりの高水準の賃上げが実現し、企業の設備投資は史上最高水準にあるとされています。しかしながら、依然として、物価高騰が市民生活に大きな影響を与えております。

そのような中、本市といたしましては、定額減税及び定額減税補足給付金の支給や、市独自事業として子育て世帯への商品券配布事業、学校給食の食材高騰支援など、限りある資源を有効活用しながら市民生活や地域経済を守るための施策に取り組んでまいりました。

さて、本市の財政状況につきましては、非常に厳しい状況が続いております。依然として社会保障経費は増加し続けるとともに、物価高騰の影響により様々な経費が増加しております。更に、令和 7 年 4 月には川島町との間で新たに一部事務組合を設立し、広域による最短最速でのこ

み処理施設整備に取り組むこととなっており、先送りの出来ない、将来を見据えた事業も着実に進める必要があります。

このような状況にあっても「桶川市第六次総合計画」の実現に向け事業に取り組むとともに、「夢と希望を未来へつなぐまちづくり」の推進に向け、本市の発展や市民福祉の向上を図るために必要な施策を着実に前進させてまいります。

今後も引き続き、議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

【 市政運営に対する基本的な考え方 】

それでは、市政運営に関する基本的な考え方につきまして、順次申し上げます。

令和7年度の市政の運営に当たりましては、厳しい財政運営が見込まれる状況にあっても、社会情勢の変化に合わせ、多様化する行政需要に柔軟に対応していく必要がございます。

当初予算の編成に当たりましては、第六次総合計画を基本とし、新しい時代を見据え、5つの重点分野として「安心安全で利便性の高いまちづくりの推進」、「こどもが輝き、安心して子育てができるまちづくりの推進」、「誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくりの推進」、「にぎわいや活力に満ちあふれる元気なまちづくりの推進」そして「新たな時代に向けたまちづくりの推進」を位置付け、編成したところでございます。

それでは、5つの分野の主な事業について御説明申し上げます。

はじめに、「安心安全で利便性の高いまちづくりの推進」でございます。

激甚化・頻発化する災害に備えるため、防災対策パッケージとして、ポータブル蓄電池を避難所へ配備するとともに、防災ガイドブック及び家具転倒防止器具等設置費補助金など、防災意識の醸成に取り組んでまいります。また、自転車駐車場改修事業や学校防犯対策事業に取り組むなど、安心安全で利便性の高いまちづくりも推進してまいります。

次に、「こどもが輝き、安心して子育てができるまちづくりの推進」

でございます。

子育て環境の更なる向上を図るため、東側基幹子育て支援施設の整備を進めるとともに、民間保育施設の保育士確保に対する支援を新たに行うなど、引き続き安心して子育てができるよう取り組んでまいります。また、小中学校におきましては、多子世帯支援として、第三子以降の学校給食費の無償化を新たに行います。さらに、放課後児童クラブにおいて学習用端末を用いた宿題が出来るようインターネット環境を整備するなど、こどもが輝き、安心して学ぶことのできる教育環境の整備を推進してまいります。

次に、「誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくりの推進」でございます。

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、地域支え合い事業、居宅サービス利用料軽減事業など、様々な在宅福祉サービス事業を引き続き実施してまいります。また、若年者の終末期がん患者の方が自宅で安心して療養できるよう在宅療養費の助成や、妊産婦の身体や経済的負担の軽減を図るため、タクシーを利用した通院など移動費用の助成を行うなど、誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進してまいります。

次に、「にぎわいや活力に満ちあふれる元気なまちづくりの推進」でございます。

市制施行55周年を記念した式典や、桶川飛行学校平和祈念館の開館5周年を記念した事業を行うなど、桶川市の魅力を発信し、にぎわいや活力に満ちあふれる元気なまちづくりを推進してまいります。

次に、「新たな時代に向けたまちづくりの推進」でございます。

日出谷地区への公共施設等の整備や、南小跡地等の施設計画の策定など、将来の桶川を見据え必要な投資を行い、新たな時代に向けたまちづくりを推進してまいります。

【財政環境と予算編成の基本的な考え方】

続きまして、市政を取り巻く財政環境と令和7年度予算編成に当たりましての基本的な考え方を申し上げます。

国による令和7年度の経済見通しでは、令和6年11月に閣議決定された「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」を広く波及させることにより、賃金上昇が物価上昇を安定的に上回る経済を実現し、「賃上げと投資が牽引する成長型経済」への移行を確実なものとしていくとされております。その一方で、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動等の影響には十分注意する必要があるともされております。

こうした中で編成された国の令和7年度一般会計予算案は、国税収入の大幅な増を見込むなど前年度比2.6%増の115兆5,415億円となっております。

地方自治体の予算編成の指針となる地方財政計画におきましては、社会保障経費や人件費の増加が見込まれる中、地域の重要課題に対応しつつ、行政サービスを安定的に提供できるよう、前年度を上回る一般財源総額が確保されたところでございます。歳入につきましては、定額減税の影響がなくなったこと及び賃上げの効果等に伴い地方税が増加で見込まれました。また、歳出につきましては、地方が幅広い施策に自主的・主体的に取り組むことができるよう所要の経費を措置し、地方一般歳出も前年度を上回る額が確保されたところでございます。

このような中、本市におきましては、歳入の根幹をなす市税収入は、前年度比較で3.8%の増額を見込んでいるところでございます。一方で、歳出では、高齢化の進展及び、賃金上昇を背景とした公定価格の増加による社会保障経費の増加や、令和6年度の人事院勧告等に伴う給与改定による人件費の増加など例年以上の増額となっております。

このような社会情勢を背景とした歳出の増大により厳しい財政状況にありますが、引き続き「夢と希望を未来へつなぐまちづくり」を推進するため、将来への投資を行いつつ、子どもから高齢者まで多くの市民の皆様が安心して生活を送ることができるよう、必要な予算措置を講じたところでございます。

【 令和7年度予算案の概要 】

令和7年度の予算案は、これまで申し上げました考え方に立って編成いたしましたもので、その規模は、

一 般 会 計	2 9 0 億 9 , 6 0 0 万 円
	(前年度比 2 . 9 % 増)
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	7 1 億 5 0 0 万 円
	(前年度比 0 . 1 % 減)
介 護 保 険 特 別 会 計	7 1 億 1 , 4 0 0 万 円
	(前年度比 3 . 8 % 増)
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	1 4 億 1 , 5 0 0 万 円
	(前年度比 1 . 2 % 増)
公 共 下 水 道 事 業 会 計	1 8 億 8 , 3 8 8 万 5 千 円
	(前年度比 1 3 . 8 % 増)

となりました。

それでは、一般会計予算案の概要につきましてご説明申し上げます。
はじめに、歳入でございます。

市税につきましては、令和6年度の決算見込みや経済動向などを参考に、前年度比3.8%増の110億9,545万3千円を計上いたしました。

地方譲与税から地方特例交付金までにつきましては、国から示される地方財政計画や決算見込みなどを参考にそれぞれ計上いたしました。

地方交付税につきましては、令和6年度の算定額や地方財政計画などを参考に、前年度比7.7%増の39億3,000万円を計上いたしました。

国庫支出金につきましては、児童手当負担金及び情報システム標準化・共通化に伴う補助金などの増加に伴いまして、前年度比21.0%増の52億4,177万2千円を計上いたしました。

県支出金につきましては、保育所入所費負担金及び国勢調査委託金などの増加に伴いまして、前年度比11.4%増の21億363万2千円を計上いたしました。

繰入金につきましては、減債基金繰入金及び公共施設等総合管理基金繰入金などの増加に伴いまして、前年度比13.6%増の11億1,602万円を計上いたしました。

市債につきましては、商工債及び臨時財政対策債の皆減などに伴いまして、前年度比42.3%減の18億100万円を計上いたしました。

次に、歳出につきましては、「桶川市第六次総合計画」における政策の体系に沿って、当初予算案における主要事業の概要をご説明申し上げます。

1 生きる力と豊かな心を育む 桶川

【教育・文化に関する分野】

子どもたちの創造性を育む教育や誰もが生涯にわたる学びを通じ、地域の自然や文化に触れ、個性や価値観を認め合いながら、生きがいのある豊かな人生を育むことができるまちづくりを進めてまいります。

はじめに、就学前教育の支援・充実につきましては、子ども達の幼児期からの心身ともに調和のとれた成長・発達のため、幼稚園、保育所などと小学校の連携を図ってまいります。また、家庭における教育力向上のための研修会を行うとともに、保護者への各種情報提供や啓発に取り組んでまいります。

次に、学校教育の充実につきましては、近年の記録的猛暑などを鑑みて、安心・安全・快適に学習できる教育環境を実現するため、中学校の体育館で空調設備設置工事を実施するとともに、新たに市内全ての小・中学校特別教室への空調設備の整備を進めるため、令和7年度は、中学校4校の設計を実施してまいります。また、学校給食につきましては、令和6年3月の市議会において「学校給食費の無償化について」の請願が趣旨採択されたことを鑑み、多子世帯保護者の負担軽減を図るため、第3子以降の学校給食費の無償化を実施いたします。さらに、近年、増加している不登校や個別の配慮を必要とする児童生徒への支援のため、現在、市内全ての中学校と小学校2校に設置している学習支援室を、小学校4校へと増設し、支援の充実を図ってまいります。

次に、青少年の健全な育成につきましては、青少年が社会から取り残されず、健やかに成長し、自立、活躍することができるよう、家庭や学

校だけでなく、地域全体で支える環境づくりを進めるとともに、青少年を育成する団体との連携や支援を通じまして、青少年の社会力・生きる力を伸ばし、健全な育成に努めてまいります。

次に、生涯学習・生涯スポーツの充実につきましては、施設の老朽化に対応するため、舎人スポーツ・パーク管理棟の通路改修工事を実施するとともに、桶川サン・アリーナのメインアリーナ防水改修工事を令和7年度から2か年で実施します。また、本市と連携協定を締結しております「日本体育大学」や「埼玉西武ライオンズ」、「埼玉上尾メディックス」とイベントなどを通じまして、子どもから高齢者までの幅広い年齢層の方々にスポーツの楽しさを体験していただけるよう、連携を深めながら事業を実施するとともに、ニュースポーツを推進するため、中学校プールを活用したスケートボード場の整備を行ってまいります。

次に、文化・芸術の振興・保存・継承につきましては、文化活動の発表の場としまして、市役所1階の市民ギャラリーの更なる活用や、「おけがわ市民芸術文化祭」などを通じまして、引き続き文化芸術の振興を支援してまいります。また、本市の貴重な文化財を保存、継承するため、各種資料の調査や文化財指定を実施するとともに、本市の歴史や文化への興味や理解が深まるよう、歴史民俗資料館での展示や講座など、文化財の積極的な活用を図ってまいります。

次に、人権教育・啓発と平和の推進につきましては、基本的人権を互いに尊重し、あらゆる差別を無くすとともに、平和で明るい社会を築くため、正しい知識を学び、自ら考え行動することができるよう継続的な人権教育の推進と平和が尊重される社会づくりを進めてまいります。

2 共に支え合い いきいきと暮らせる 桶川

【健康・福祉に関する分野】

市民の健康づくりに対する支援や、保健・医療・介護体制の充実、子育て支援、障害者の自立支援などの充実を図り、住み慣れた地域で共に

支え合い、健康で幸せな生活が続けることができるまちづくりを進めてまいります。

はじめに、健康づくりの推進・医療の充実につきましては、骨粗しょう症予防の強化を図るため、従来から実施しております骨密度測定事業に加え、対象となる方に対して骨粗しょう症検診を実施してまいります。また、若年終末期がん患者が、住み慣れた自宅で安心して過ごせるよう在宅で療養するための費用を助成してまいります。

次に、子ども・子育て支援の充実につきましては、経済的課題を抱える世帯等の高校３年生と中学３年生に対して、受験に向けた模試費用などを補助してまいります。

また、子育て・保育環境の充実を図るため、民間保育施設の保育士確保を支援するため、新たに保育士を採用する場合の補助を実施するとともに、公立保育所の再編などに伴う東側基幹子育て支援施設整備の基本設計等を行うほか、放課後児童クラブにおいて、児童が学習用端末を用いた宿題などを円滑に行えるようインターネット環境を整備してまいります。

さらに、妊産婦の身体への負担や経済的負担を軽減するため、タクシーを利用した産婦人科への通院や外出を支援してまいります。また、たたいにんしん多胎妊娠による健診費用の負担軽減を図るため、健診費用の上乗せを行ってまいります。

次に、高齢者支援の充実につきましては、スポーツの交流大会などを通じ、高齢者の健康保持・増進、社会参加などを図り、長寿社会の形成に寄与するために開かれる全国健康福祉祭、通称ねんりんピックの埼玉大会が令和８年度に開催されることから、大会を円滑に実施するため、実行委員会を設置し、プレ大会を実施してまいります。

次に、障害児者支援の充実につきましては、障害や難病などがある方々が地域で安心して生活するために必要な福祉サービスを行うとともに、新たに市庁舎窓口における耳の聞こえづらい高齢者や難聴者等との会話をサポートするため、「軟骨伝導イヤホン」を設置いたします。

次に、自立した生活への支援の充実につきましては、誰もが経済的に自立した生活を送ることができるよう、生活保護制度の適正な運用を図

るとともに、関係機関との連携を図りながら就労支援などに取り組んでまいります。

次に、地域福祉の推進につきましては、重層的支援体制整備事業として開設した福祉総合相談窓口を充実させ、市民ニーズや社会の変化に対応しうる持続可能な地域福祉の増進を図ってまいります。

3 安心して暮らし続けられる 桶川 【安心安全・都市基盤に関する分野】

防災力・防犯力の向上や交通安全対策の充実により、市民一人ひとりの生命と財産を守るとともに、生活機能が集積する拠点と交通ネットワークの形成により、生活の利便性を高め、心穏やかに暮らし続けることができるまちづくりを進めてまいります。

はじめに、防災・減災対策の推進につきましては、市民、事業者等が自助・共助・公助の考え方を理解し、主体的に災害に備え、自発的に行動できるよう、市や地域で行う防災訓練、リニューアルする防災ガイドブックなどを通じ、意識啓発と地域防災力の向上に努めてまいります。また、指定避難所にポータブル電源を配備するなど、防災機能の強化を図ってまいります。さらに、市内で発生する火災等の消防活動等を担う消防団につきましては、引き続き、消防団員の確保及び女性団員の登用に努めるなど、充実強化を支援してまいります。

次に、防犯まちづくりの推進につきましては、市民の防犯意識の向上を図るため、防犯に関する知識の普及や防犯意識の啓発に取り組むとともに、防犯パトロールや啓発活動を行う自主防犯団体を支援し、活動の促進に努めてまいります。

次に、交通安全対策の推進につきましては、交通安全意識や交通マナーの向上に関する周知・啓発活動に取り組むとともに、歩道整備や道路照明灯のLED化など、更なる交通安全施設の整備や適切な維持管理を実施してまいります。また、桶川駅西口第1自転車駐車場の改修工事を行い、利用者の利便性の向上を図ってまいります。

次に、治水対策の推進につきましては、大雨に伴う浸水被害などの軽減を図るため、目沢排水路流域や下日出谷西地区の治水対策を計画的に実施してまいります。また、一級河川江川につきましては、引き続き早期改修を国、県へ強く要望してまいります。

次に、良好な都市環境の形成につきましては、公園利用者のニーズを踏まえた整備、改修や適切な維持管理を図るため、殿山公園の整備を進めるとともに、都市公園の施設長寿命化計画に基づき、城山公園の管理棟の建替えや、その他、都市公園遊具の老朽化に伴う改修工事を実施してまいります。

また、引き続き駅東口地区の公共下水道の^{かんきょ}管渠整備を実施するとともに、持続可能な下水道事業運営を図るため、ストックマネジメント計画に基づく施設の点検調査を進め、計画的な改築工事などを進めてまいります。

次に、道路の整備・管理につきましては、安心安全な道路環境の形成を図るため、引き続き、愛宕^{ひがし}東線の計画的な整備を推進するとともに、道路の舗装修繕や、狭^{きょう}あい道路の整備、橋^{きょう}りょうの定期点検の結果を基にした橋^{きょう}りょう修繕を推進してまいります。

次に、安全な消費生活の確保につきましては、多様化する消費トラブルに対応するため、引き続き専門の相談員を配置し相談者の支援体制を整え、市民の方々が安心して消費活動を行える環境づくりを図ってまいります。

次に、生活に身近な拠点の形成につきましては、魅力ある中心市街地の形成を図るため、駅東口駅前広場や駅東口通り線、市道11-1号線の整備を推進するとともに、南小跡地等につきましては施設計画を策定してまいります。今後、可能な限り事業の前倒しを図るなど、よりスピード感を持って、早期の事業完了に向け取り組んでまいります。

また、日出谷地区のコミュニティ拠点につきましては、地域の交流や生涯学習、子育て支援などの場づくりとして整備を進めるため、民間活力導入可能性調査などを実施いたします。

4 環境にやさしく みどりと調和した 桶川

【環境・みどりに関する分野】

再生可能エネルギーの導入、ごみの減量化や再資源化、河川や雑木林、公園などのみどりや水辺の保全と活用を図り、人と自然にやさしく、みどり豊かで快適なまちづくりを進めてまいります。

はじめに、地球温暖化対策の推進につきましては、令和7年3月に新たに策定する「桶川市地球温暖化対策実行計画」及び「桶川市気候変動適応計画」等に基づき、2050年カーボンニュートラルを実現するための中間目標として、2030年度までに46%の削減を目指し、地球温暖化に関する意識啓発を図るとともに、省エネ機器の普及や公共施設における再エネ機器の導入など環境負荷の低減に向けた取り組みを推進してまいります。

次に、資源循環型社会の構築につきましては、安定したごみ処理体制を構築するため、令和7年4月1日に川島桶川資源循環組合を設立し、ごみ処理の広域化を早期に実現できるよう取り組んでまいります。また、市民等との連携・協力によりごみの排出量抑制や再資源化に取り組むなど、更なるごみの減量化を推進してまいります。

次に、快適で衛生的な地域環境の創出につきましては、良好な生活環境の充実を図るため、生活環境の維持・保全に関する規制の内容等を周知し、意識啓発を図るとともに、騒音や振動、大気汚染などの環境調査や公害の監視などを実施してまいります。

次に、みどり空間の創出につきましては、令和7年3月に新たに策定する「第二次桶川市緑のまちづくり基本計画」に基づき、緑化の推進や緑地の保全など緑に関する施策を総合的、かつ計画的に推進してまいります。

次に、憩いの自然空間の保全と活用につきましては、自然と生活環境との調和を図るため、市民緑地や保存樹林の指定など身近な緑や水辺環境、生態系の保全等に努めてまいります。

5 にぎわいと活力ある 桶川

【産業・経済に関する分野】

農業、工業、商業、観光業など、多様な産業の連携や振興を図るとともに、中心市街地の活性化、地の利をいかした企業誘致や施設の立地誘導を図り、住み続けたいと思えるまちづくりを進めてまいります。

はじめに、農業の振興につきましては、農業振興地域整備計画に基づき、新規就農者の確保や、担い手への農地の利用集積を推進するとともに、農地の効率的かつ総合的な利用を図るため、地域計画に基づき、地域農業の維持発展を図ってまいります。

次に、工業の振興につきましては、事業活動の発展や維持、安定的に成長できる環境づくりを推進するため、中小企業融資制度や相談支援体制の充実を図ってまいります。また、企業誘致を推進するため、桶川北本 I C 周辺東部地区において、広域交通網の結節点という地の利をいかした産業基盤づくりに向け、引き続き地権者協議会及び事業者と共に協力し、スピード感を持って事業の早期実現を目指してまいります。

次に、商業の振興につきましては、空き店舗に新たに新店を出す事業者に対して補助を行い、引き続き空き店舗の利用促進及び活力ある商店街づくりを進めてまいります。また、市内での開業を目指す方に対し、創業支援事業計画に基づき、関係機関との連携による支援を実施してまいります。

次に、観光の振興につきましては、観光まちづくり拠点として、令和 7 年 3 月に開業する「道の駅べに花の郷おけがわ」において、地域の魅力を発信するとともに、農工商の産業振興も推進してまいります。また、本市の魅力を発信する観光ガイドブックを作成し、「道の駅べに花の郷おけがわ」を起点とした市内周遊を促進します。さらに、べに花等を活用したまちづくりを進めるため、関係団体への支援を引き続き行ってまいります。

次に、就労支援と勤労者福祉の充実につきましては、労働関係機関と連携しながら、就労に関する情報提供や相談機能の充実を図り、雇用機会の確保や勤労者福祉の充実に努めてまいります。

以上、市政運営に関する基本的な考え方及び令和7年度予算案の概要を述べさせていただきましたが、引き続き「桶川市第六次総合計画」の将来像である「学び豊かな 笑顔あふれる 幸せ未来都市 おけがわ」の実現に向け、夢と希望を未来へつなぐ持続可能なまちづくりに全力で取り組んでまいり所存でございますので、議員各位並びに市民の皆様におかれましては、市政に対します、より一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げ、私の施政方針といたします。